



コミュニティ・スクール

興部高校 C S 通信

令和7年6月16日発行 第18号

第1回学校運営協議会報告

令和7年度第1回学校運営協議会を6月12日に開催しました。協議会冒頭では、学校長から学校運営の基本方針（グラウンドデザイン）が提案され、承認いただきました。また、本校が抱えている課題に対し実効性のある支援ができるよう、今年度より、組織体制・支援体制を、「生徒募集支援」と「教育活動支援」の2つの部局に整理することを確認いただきました。続く協議事項では、和やかな雰囲気の中にも、忌憚のない意見をいただきました。協議事項の概要は次の通りです。



1 組織体制（敬称略）

会長 小堀麻理子 副会長 笹岡 彰仁

事務局長 ○大澤 裕史

生徒募集支援部局				教育活動支援部局			
小堀麻理子	笹岡 彰仁	船水 康博		多田 宏治	星川 達哉	藤渡 昭博	
上野 弘一	加藤 聡	仲元寺恒平		齊當あけみ	新熊 研二	大黒 宏	
古野 輝昭		○山崎 大輔		平澤 洋史	富田 和幸		
					○辻 陸人	○丸山 敬奈	

○印は、本校教頭（事務局）・教諭（校内委員）

2 主な年間活動計画

公開授業週間（5, 10月） 総合的な探究の時間（6, 8, 9, 11, 1月） 輝興祭（7月）

ボランティア活動（7, 8, 9, 12月） 交通安全街頭啓発（10月） 就業体験学習（10月）

見学旅行における興部町のPR（12月） 社会人教育（12月, 1月）

3 協議事項（「・」主な意見、「→」学校からの説明）

<全体協議>

◎地域として本校に望むこと（要望等）

- ・興部高校は、少人数の落ち着いた環境で学ぶことができる学校で、興部町内をはじめ、紋別、西興部、雄武など、周辺地域の中学生にとって、なくてはならない選択肢である。興部町内だけではなく、西紋別全域の中学校に対するPR活動に力を入れていただきたい。
- 少人数であることは本校の強みの一つである。今年度の教員1人あたりの生徒数（教員・生徒比）は、教員1人に対して生徒3人（大規模校では、教員1人に対して生徒15～18人が一般的）であり、一人ひとりに目が行き届いたきめ細やかな指導が可能である。また、授業や生徒会活動、学校行事でリーダー役になれるチャンスに恵まれており、本校の学びの場としての心理的安全性は極めて高い。これまで同様に、中学生へのPRに取り組んでほしい。

<生徒募集支援部局協議>

◎学校PRパンフレット・ポスターについて

- 生徒が撮影した写真を使用し、ポスターについて協議した。中学生の心に響くようなポスター作製に係る助言を頂いた。

<教育活動支援部局協議>

◎学校祭、就業体験学習、総合的な探究の時間、見学旅行におけるPR活動について

- ・総合的な探究の時間で1月に計画されている「簡易模擬議会」は、非常に良い取り組みである。地域の方に広く呼び掛けて見に来ていただければどうか。